

平成30年4月5日(木)

県政 F ネット

連 絡 先
三重県医療保健部 薬務感染症対策課 感染症対策班 担当：金谷・小掠 電話： 059-224-2352

感染症の予防のための
情報提供について

病 名	腸管出血性大腸菌感染症 (026)		
年齢及び性別	35歳・男性	職 業	公務員
住 所	鈴鹿市		
発病年月日	平成30年 3月25日		
診断年月日	平成30年 4月 4日		

(患者発生の経過)
 3月25日 腹痛、下痢の症状がみられた。
 3月27日 腹痛、下痢の症状が継続した。
 3月29日 腹痛、軟便の症状が改善しないため、鈴鹿市内の診療所を受診した。
 4月 4日 3月29日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。
 4月5日現在、患者は腹痛の症状がありますが、快方に向かっています。

【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施(鈴鹿保健所)

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】(四日市市保健所分を含む)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
患 者	39	27	29	29	1
保菌者	19	10	15	13	1
計(感染者)	58	37	44	42	2

※平成30年1月1日～平成30年4月4日現在まで本件含む

平成30年内訳 患 者：026(1人)

保菌者：0157(1人)

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。

肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。

ひき肉は、十分に加熱をしましょう。

焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。

井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。

冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫(10℃以下)や冷凍庫(-15℃以下)に入れましょう。

③ 清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。